

# 個人投資家の皆さまへ

2019年2月

株式会社 野村総合研究所

(東証一部/証券コード:4307)

代表取締役 専務執行役員

臼見 好生



# 本日のご説明

---

**1. 野村総合研究所(NRI)とは？**

**2. 成長を続けるNRIの強み**

**3. さらなる成長に向けた取り組み**

**4. 数値目標・株主還元**

**5. 社会的責任(ESG・CSR活動)**

# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

日本初の民間シンクタンク「野村総合研究所」と、システムインテグレータの草分け「野村コンピュータシステム」が、合併して誕生した会社です。



2001年12月 東証一部上場（証券コード:4307）

2015年 4月 野村総合研究所 創立50周年

## （会社概要）

資本金 : 186億円

代表者 : 代表取締役社長  
此本 臣吾

従業員数 : 12,708名(連結)  
(2018年3月末)

## （2018年3月期業績）

連結売上高 : 4,714億円

連結営業利益 : 651億円

## 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

**新しい社会やビジネス、そして未来を自ら生み出そうとする姿勢を「未来創発」に込めて、挑戦を続けている会社です。**

### 企業理念

コーポレート・ステートメント

未来創発

Dream up the future.

使命

新しい社会のパラダイムを  
洞察し、その実現を担う

お客様の信頼を得て、  
お客様とともに栄える

## 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

NRIは「コンサルティング」と「ITソリューション」を提供する会社です。

### コンサルティング

**経営・政策コンサルティング**  
(方針づくりを支援する)

**業務コンサルティング**  
(方針の実行を支援する)

**システムコンサルティング**  
(システム企画を支援する)

**未来予測・社会提言等**  
(シンクタンクとしての使命)

### ITソリューション

**システム開発**  
(システムをつくる)

**運用アウトソーシング**  
(システムを維持・管理する)

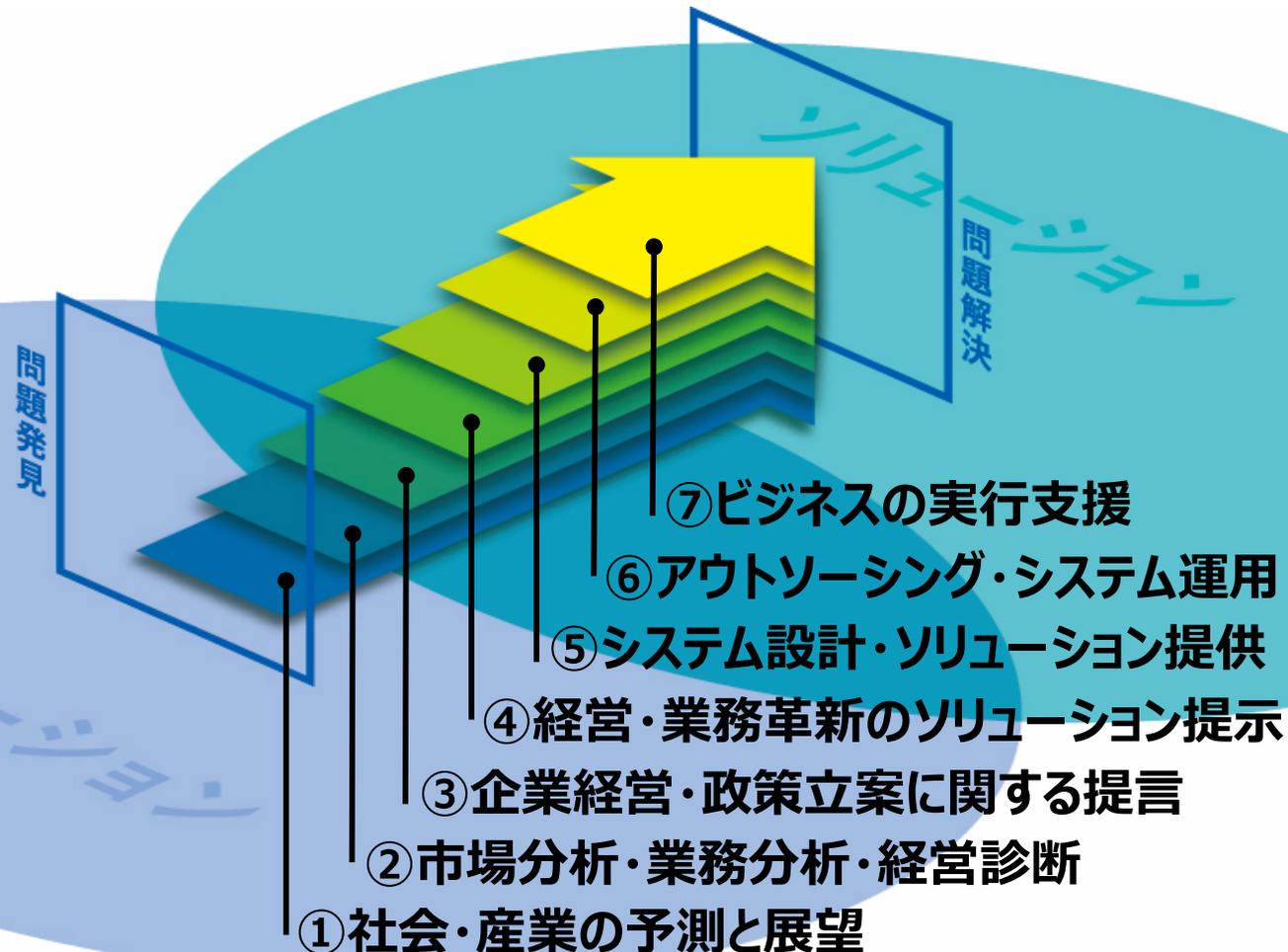
**共同利用型サービス**  
(共同利用システムを提供する)

**共同利用型サービス + BPO**  
(周辺事務も含めて代行する)

# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

お客様の問題発見から問題解決までの一貫した支援を提供する「ナビゲーション×ソリューション」がNRIのビジネスの特徴です。

## 問題発見から問題解決まで7つのステップからなるNRIの「ナビゲーション×ソリューション」



# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

## 皆さまの日々の暮らしを支えるNRIの仕事、いくつかご紹介します



# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

## 皆さまの暮らしを支えるNRI【コンサルティング】

データ  
センター

ATM

電子マネー



### コンサルティング

- 地方創生、まちづくり政策策定支援
- 災害復興計画策定支援  
(東日本大震災、熊本地震など)
- アジア各国のインフラ整備計画策定支援  
(上海虹橋空港の総合交通ハブエリア開発  
モンゴル金融資本市場整備計画など)

コンサル

新聞  
(金融情報)

# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

## 皆さまの暮らしを支えるNRI【未来予測・社会提言】

データ  
センター

ATM

電子マネー



### 未来予測・社会提言(シンクタンク)

- 金融や流通など各産業の将来展開
- 生活者や投資家の意識調査
- IT技術ロードマップ等の未来予測

取材・講演・出版などで情報発信

コンサル

新聞  
(金融情報)

# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

## 皆さまの暮らしを支えるNRI【証券会社】

データ  
センター

ATM

電子マネー



### 証券会社

- 大量の証券取引を確実に処理するために必要不可欠なITサービスを提供

株式市場の安定を支える

ネット  
テイング

新聞  
(金融情報)

# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

## 皆さまの暮らしを支えるNRI【コンビニエンスストア】

データ  
センター

ATM

電子マネー



### コンビニエンスストア

- POSシステムをサポート  
(売れ行き動向データを発注等に活用)

暮らしに身近で便利な  
コンビニエンスストアを支える

マーケティング

新聞  
(金融情報)

# 1. 野村総合研究所(NRI)とは？

## 皆さまの暮らしを支えるNRI【ATM】

データ  
センター

ATM

電子マネー



### ATM

- ATMネットワークをサポート  
(24時間365日、確実に稼動)

身近で便利な金融サービスを支える

コンサルティング

新聞  
(金融情報)

**1. 野村総合研究所(NRI)とは？**

**2. 成長を続けるNRIの強み**

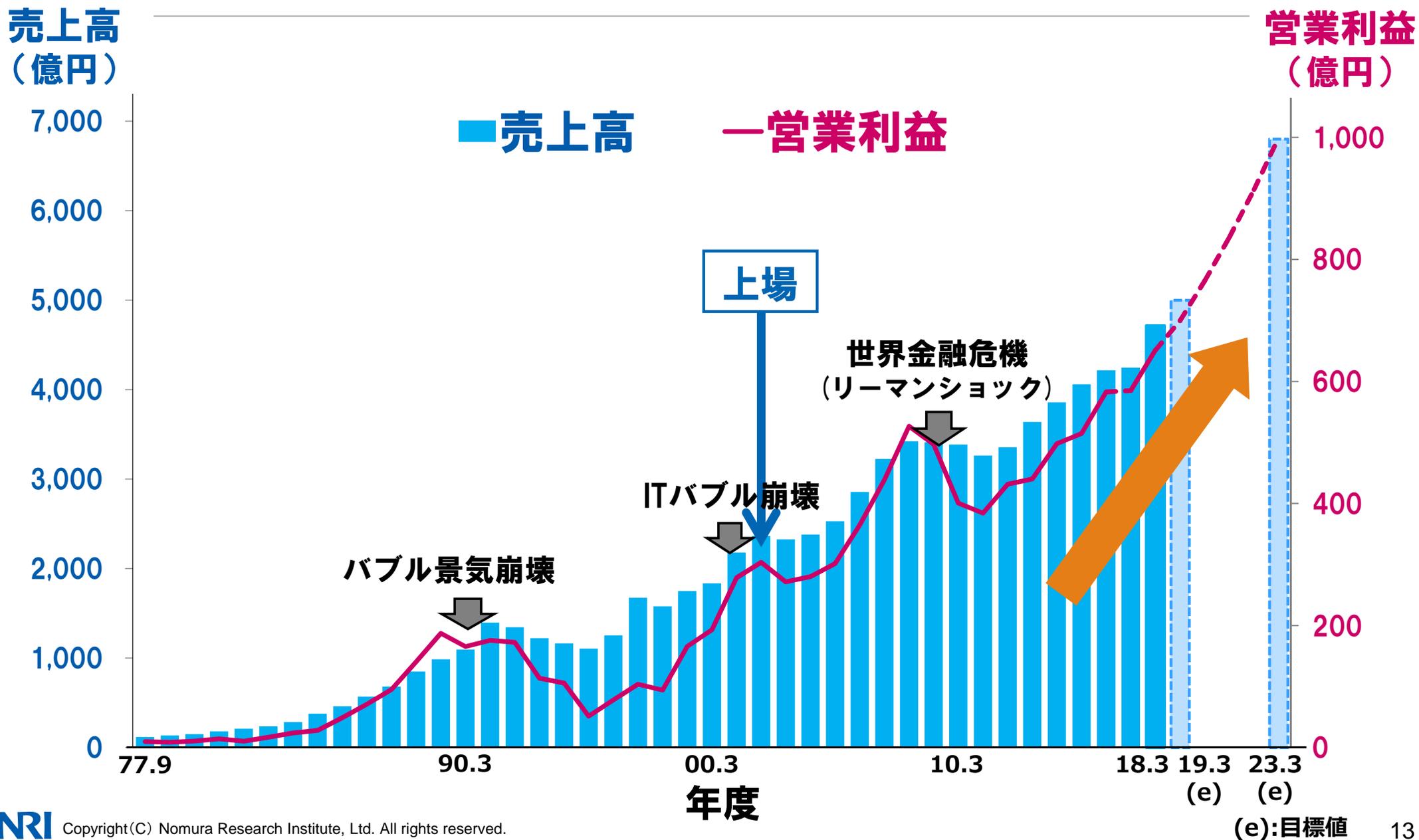
**3. さらなる成長に向けた取り組み**

**4. 数値目標・株主還元**

**5. 社会的責任(ESG・CSR活動)**

## 2. 成長を続けるNRIの強み

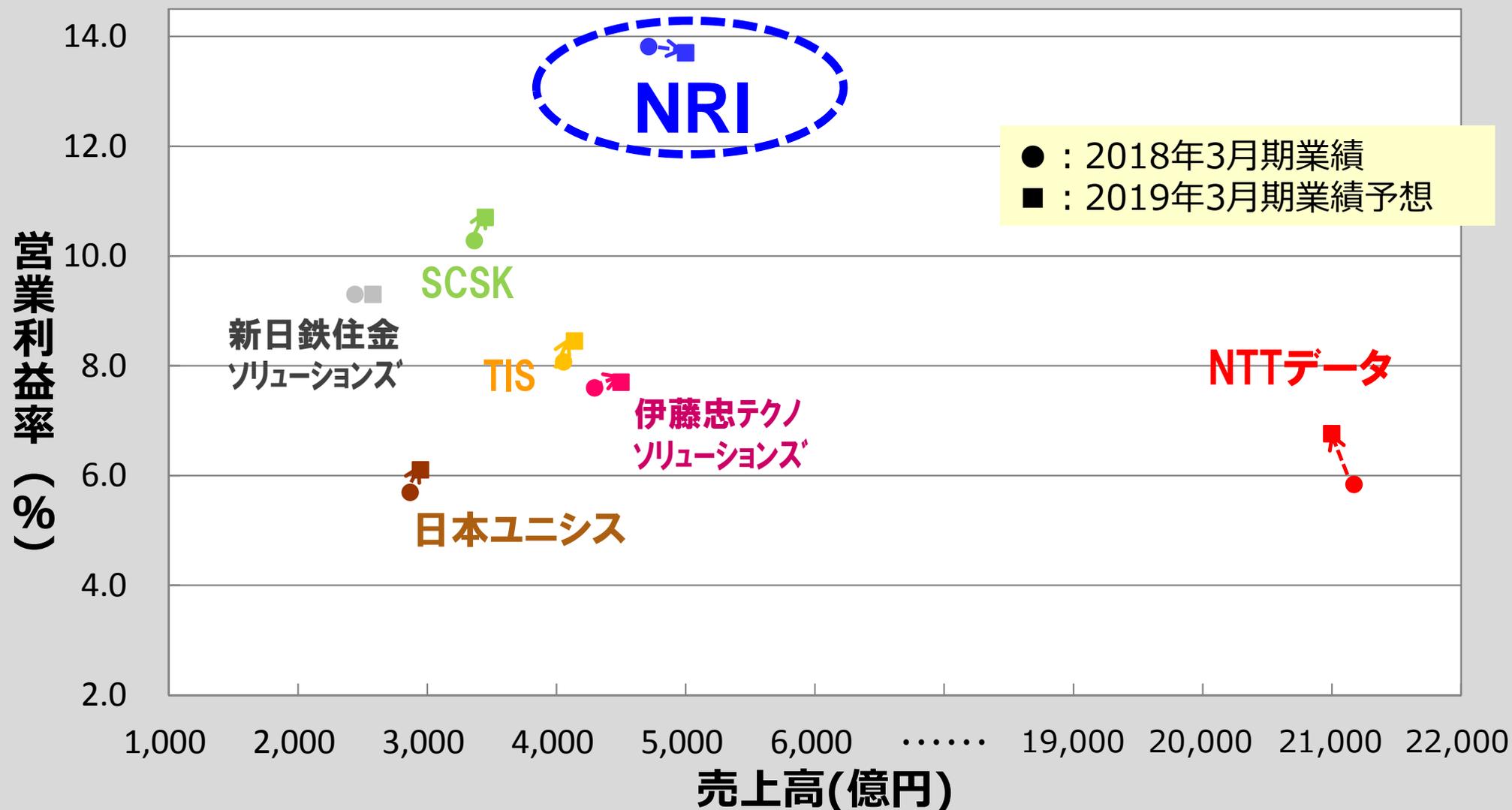
創業以降、**持続的な成長**を達成してきました。



## 2. 成長を続けるNRIの強み

ITサービス業界の中で、**業界トップクラスの利益率**を継続しています。

【同業他社との売上高・営業利益率の比較】

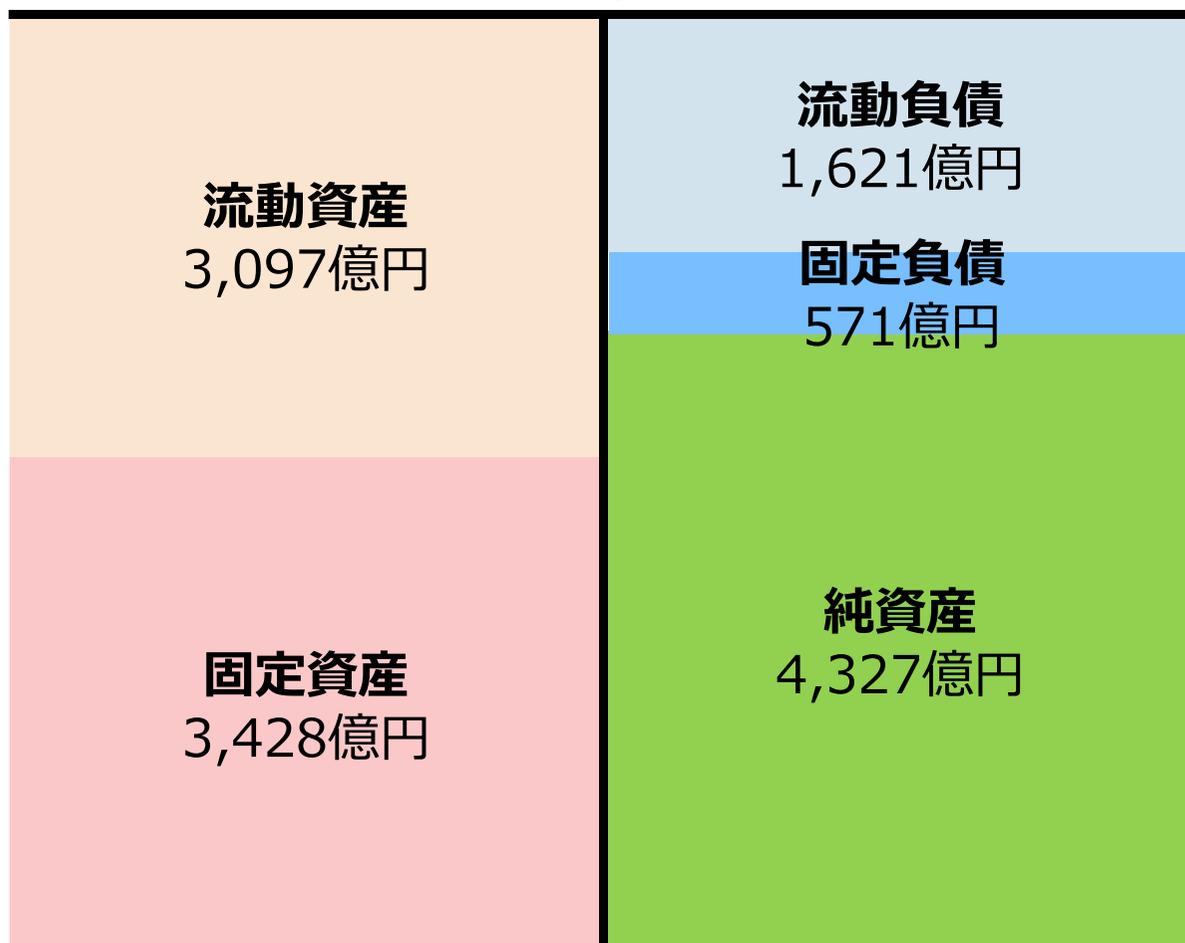


## 2. 成長を続けるNRIの強み

安定的なキャッシュフローに裏打ちされた**健全な財務基盤**を有しています。

### 【2018年3月期末の貸借対照表（連結）】

総資産 6,526億円



現金及び現金同等物

1,583億円

有利子負債

816億円

自己資本比率

64.2%

1株当たり純資産額

1,760.58円

## 2. 成長を続けるNRIの強み

### NRIの強み

---

**強固な顧客基盤**

**継続的な事業による安定的な業績**

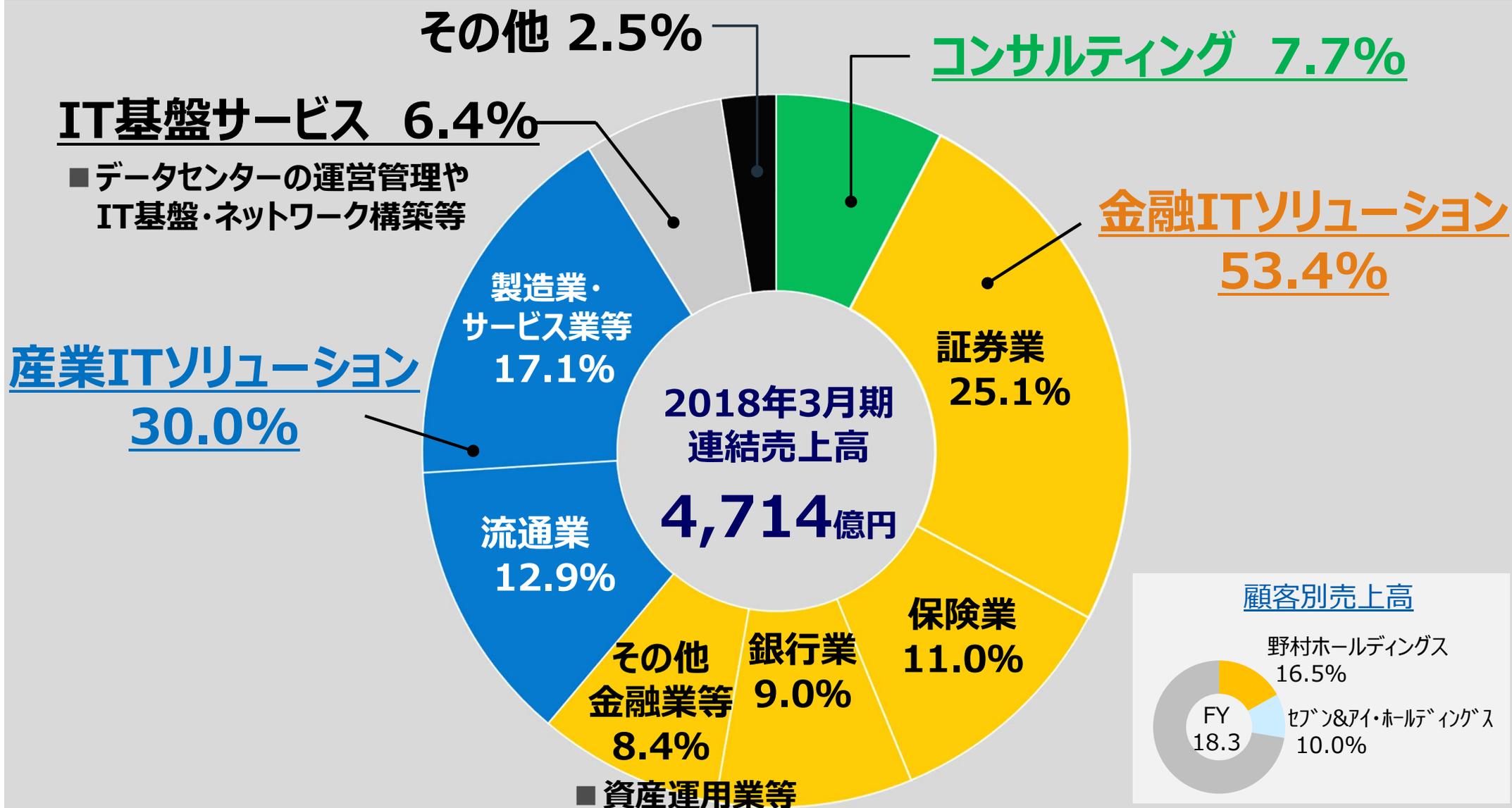
**多様な共同利用型サービス**

**高い信頼性を誇るデータセンター**

**優秀で層の厚い人材**

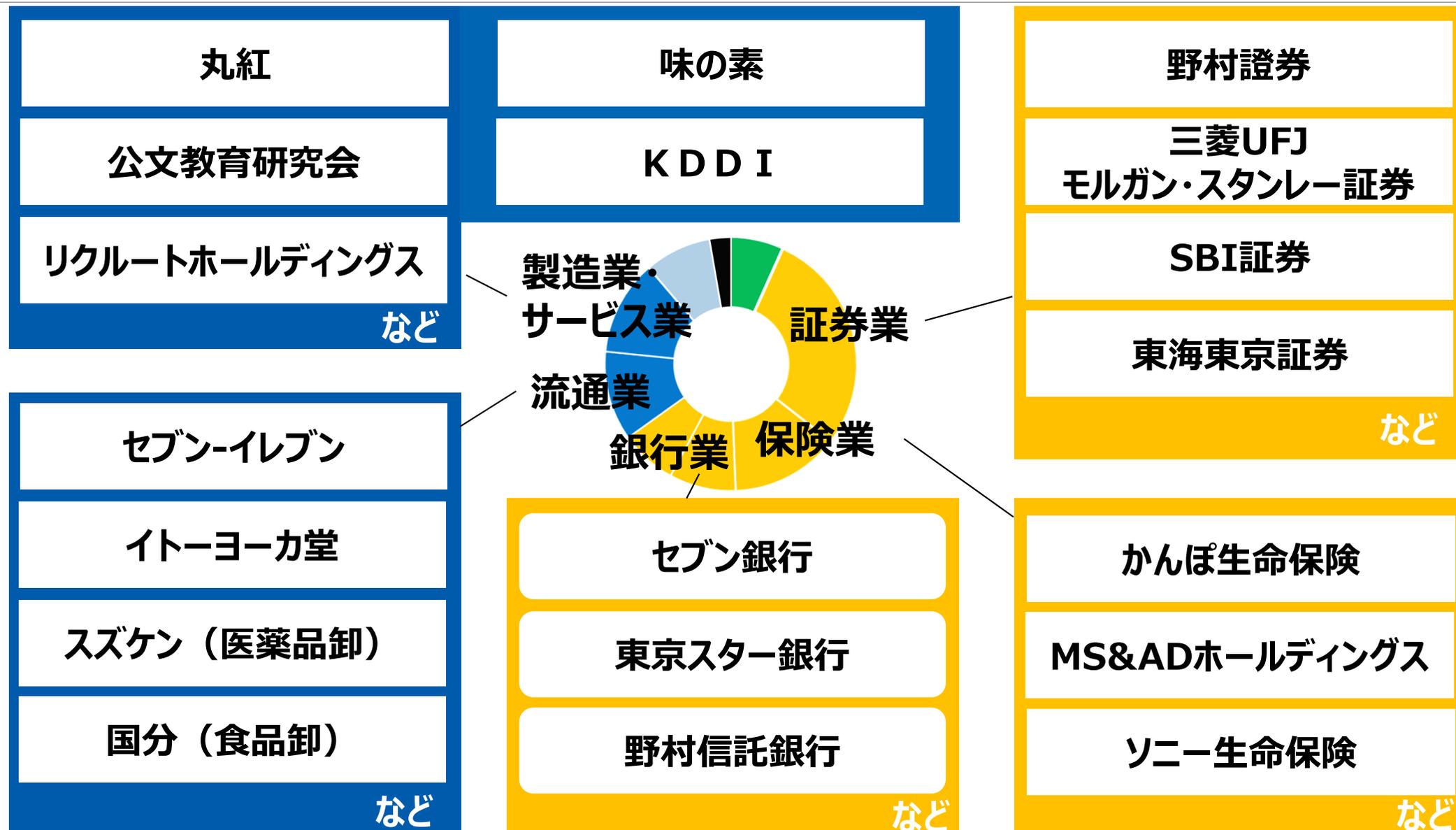
## 2. 成長を続けるNRIの強み

金融機関向け売上比率が高い点が特徴です。



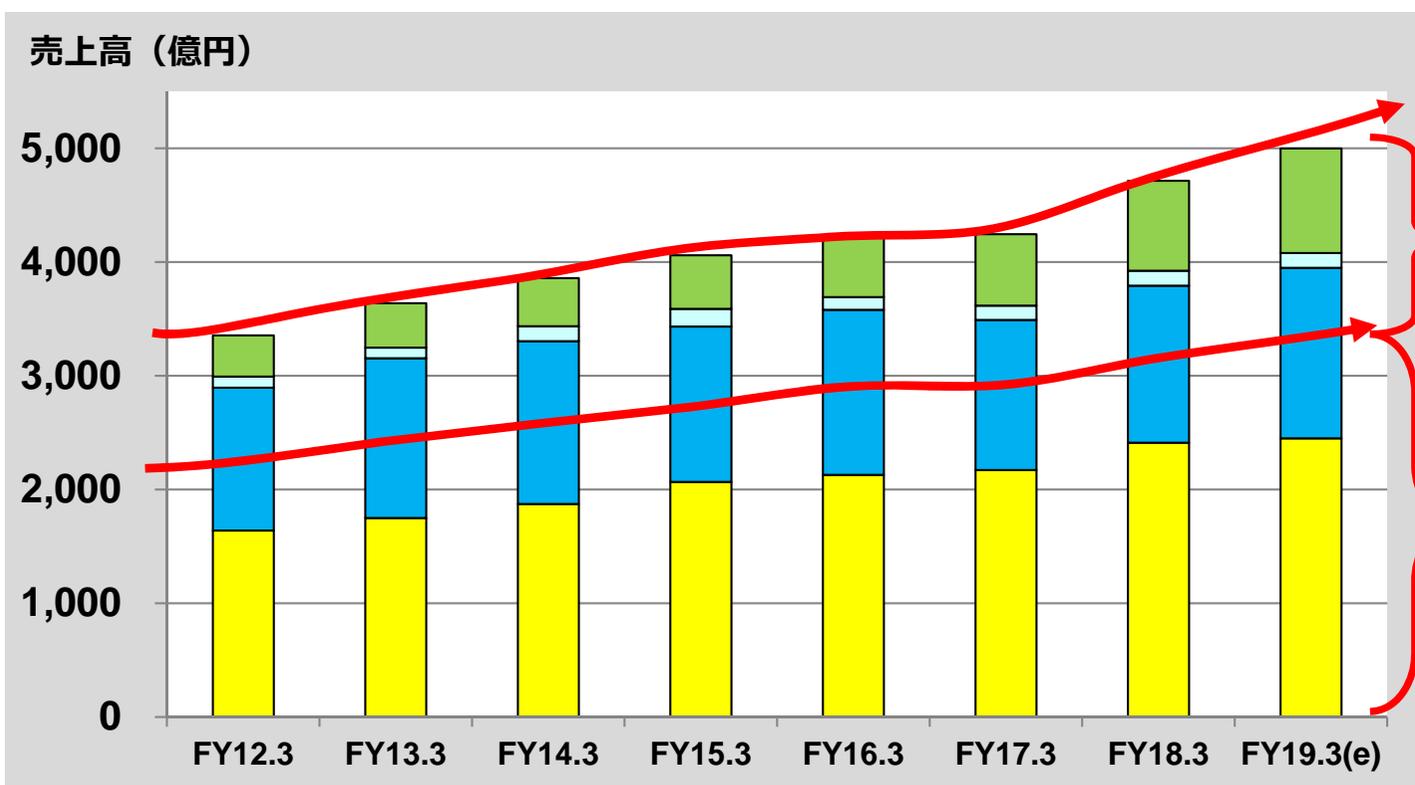
## 2. 成長を続けるNRIの強み

様々な業界のトップ企業を中心に【**強固な顧客基盤**】を保有しています。



## 2. 成長を続けるNRIの強み

強固な顧客基盤のもと、60%を超える継続的な事業を有し、  
同業他社に比べて、【**安定的な業績**】を実現しています。



景気変動を受けやすい事業  
**40%未満**

- コンサルティング
- 商品販売
- システム開発（新規）

継続的な事業  
**60%超**

- システム開発（エンハンスメント）
- 運用サービス
  - 運用アウトソーシング
  - 共同利用型サービス

**■ コンサルティングサービス 16.8%**

- 経営コンサルティング
- システムコンサルティング
- システム開発上流におけるコンサルティング

**■ 商品販売 2.8%**

- 外部から仕入れたハードウェアやソフトウェアの販売

**■ 開発・製品販売 29.3%**

- システムインテグレーション（受託開発）
- 当社開発ソフトウェアパッケージの販売

**■ 運用サービス 51.2%**

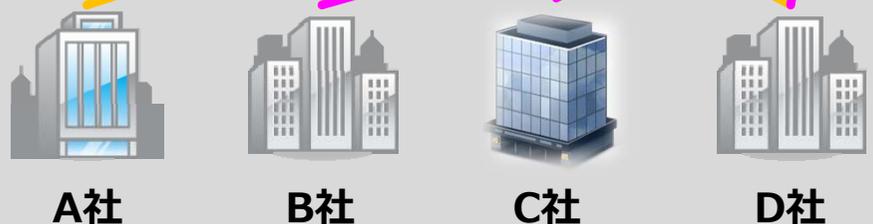
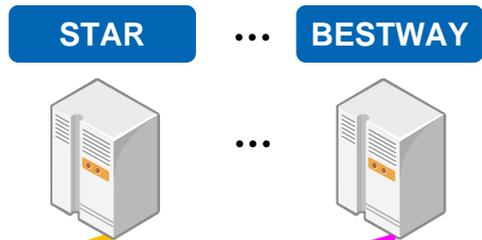
- 運用アウトソーシングサービス
- 共同利用型システムサービス

## 2. 成長を続けるNRIの強み

NRIは、【**共同利用型サービス**】に大きな強みを持っています。  
情報システムの「**所有から利用へ**」の流れを作り出したパイオニアです。

- ◆ NRIが開発したシステムを**お客様が共用**
- ◆ **利用料方式**で、お客様のニーズにあった機能を**取捨選択**してご利用可能
- ◆ **煩雑な制度改正**にも迅速に対応

### <NRIのデータセンター>



### 【共同利用型サービスの一例】

<b>THE STAR</b>	リテール証券会社向け 総合バックオフィスシステム	<b>72</b> 社
<b>I-STAR</b>	ホールセール証券会社向け 総合バックオフィスシステム	<b>28</b> 社
<b>T-STAR</b>	投資信託運用会社向け 信託財産管理システム	<b>78</b> 社
<b>BESTWAY</b>	投資信託窓口販売 口座管理システム	<b>114</b> 社

## 2. 成長を続けるNRIの強み

**【高い安全性を誇るデータセンター】**がNRIのビジネスを支えています。  
緊急事態での事業継続や災害復旧にも、万全の体制を備えています。

### 【関東地区】



#### 東京第一データセンター

竣工：2012年  
延床面積：38,820㎡  
受電能力：4万KVA



#### 横浜第一データセンター

竣工：1990年  
延床面積：20,480 m<sup>2</sup>  
受電能力：1万KVA



#### 横浜第二データセンター

竣工：2007年  
延床面積：15,888 m<sup>2</sup>  
受電能力：1.5万KVA

### 【関西地区】



#### 大阪データセンター

竣工：1992年  
延床面積：18,695 m<sup>2</sup>  
受電能力：1万KVA



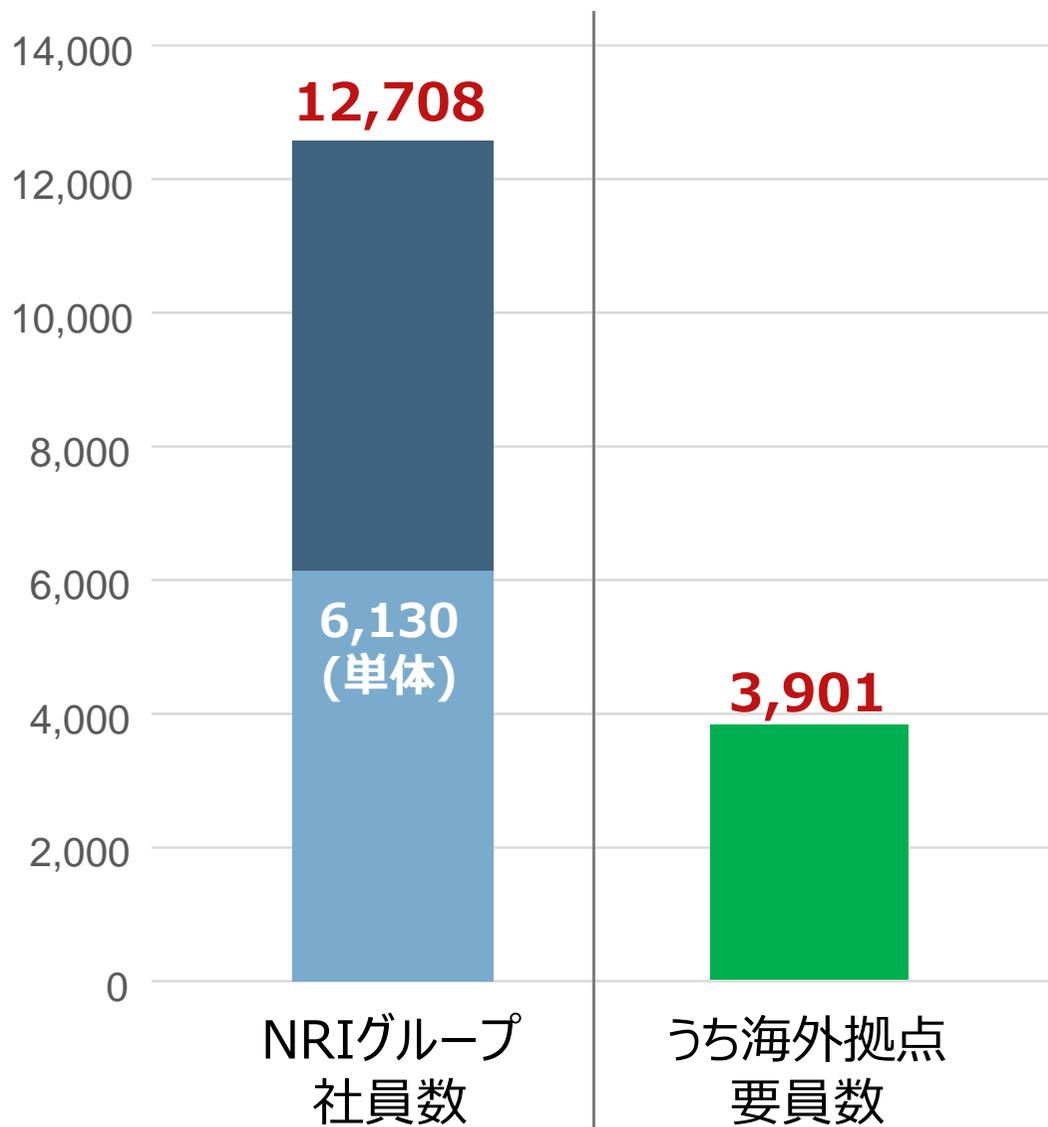
#### 大阪第二データセンター

竣工：2016年  
延床面積：15,000 m<sup>2</sup>  
受電能力：7,500KVA

## 2. 成長を続けるNRIの強み

**【優秀で層の厚い人材】**がNRIの強みの源泉です。

**グループ社員数は一万人を超え、高度な資格取得者を多数抱えています。**



### 【主な資格取得者数※<sup>1</sup> <2018年3月末>】

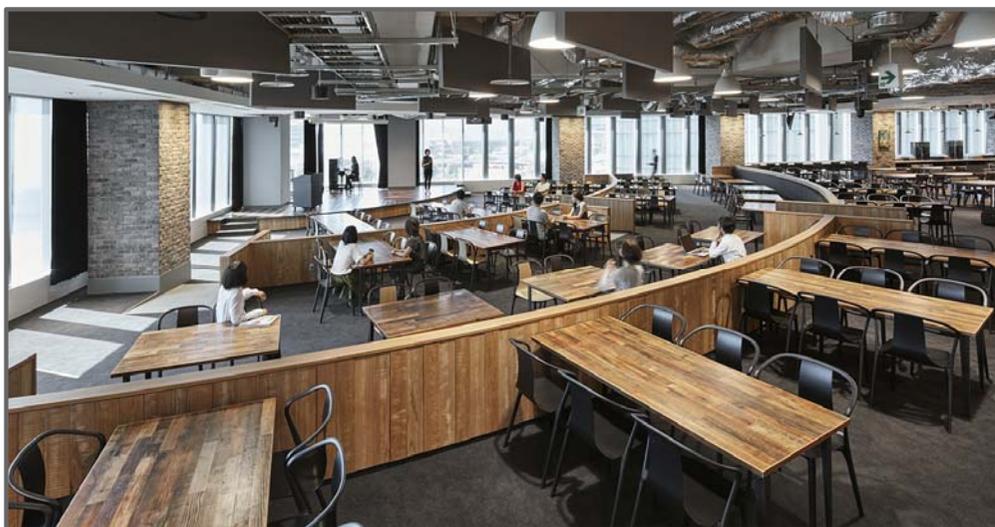
資格名	人数
情報処理技術者（高度）※ <sup>2</sup>	6,608
ITコーディネーター	197
Project Management Professional	292
ITIL Manager/Expert/Intermediate	70
証券アナリスト検定会員	245
公認会計士	9
中小企業診断士	46
一級建築士	10
電気通信主任技術者	107

※<sup>1</sup> NRI単体+出向者

※<sup>2</sup> 情報処理技術者試験（高度）：旧制度下で実施された「システムアナリスト試験」「上級システムアドミニストレーター試験」「情報セキュリティスペシャリスト試験」「情報セキュリティアドミニストレーター試験」の合格者数を含む延べ人数

## 2. 成長を続けるNRIの強み

**東京・横浜・大阪で、新しいオフィスビルへの移転を進めました。  
社内外のコミュニケーションを活性化するワークスタイルを重視しています。**



**1. 野村総合研究所(NRI)とは？**

**2. 成長を続けるNRIの強み**

**3. さらなる成長に向けた取り組み**

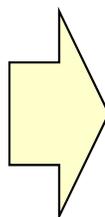
**4. 数値目標・株主還元**

**5. 社会的責任(ESG・CSR活動)**

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

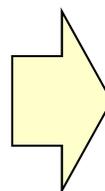
社会や企業の「グローバル化」「デジタル化」は、NRIの成長機会です。

社会や企業における  
グローバル化・デジタル化



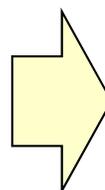
NRIにとっては、  
大きなビジネスチャンス

顧客企業の海外展開の加速  
や海外現地市場の拡大



**NRIグループ海外拠点拡大**や  
**海外企業のM&A**による  
グローバル対応力の強化

デジタルエコノミーの勃興  
(ビッグデータ、AI、IoT等の  
新しいIT技術の利用拡大)



品質や効率化を目的とする  
IT投資(コーポレートIT)だけではなく、  
**ビジネス拡大に直接貢献するIT投資**  
(**ビジネスIT**)の受け皿に

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

前述した環境認識を背景に、2016年3月期～2023年3月期の  
**長期経営ビジョン Vision2022(以下、V2022)** を公表しています。

#### 【長期経営ビジョンV2022の5本柱】

##### 生産性向上

既に強みを持つ国内得意領域における生産性向上  
※社内業務の品質・効率化に貢献するIT (=コーポレートIT)

##### 知的財産強化

社内R&DやM&Aを通じた、  
NRIらしい知的財産(共同利用型サービス等)のラインナップ強化

##### グローバル化

顧客の海外展開のサポート拡大や、  
海外発の先進的な知的資産獲得によるグローバルビジネス拡大

##### ビジネス価値創造

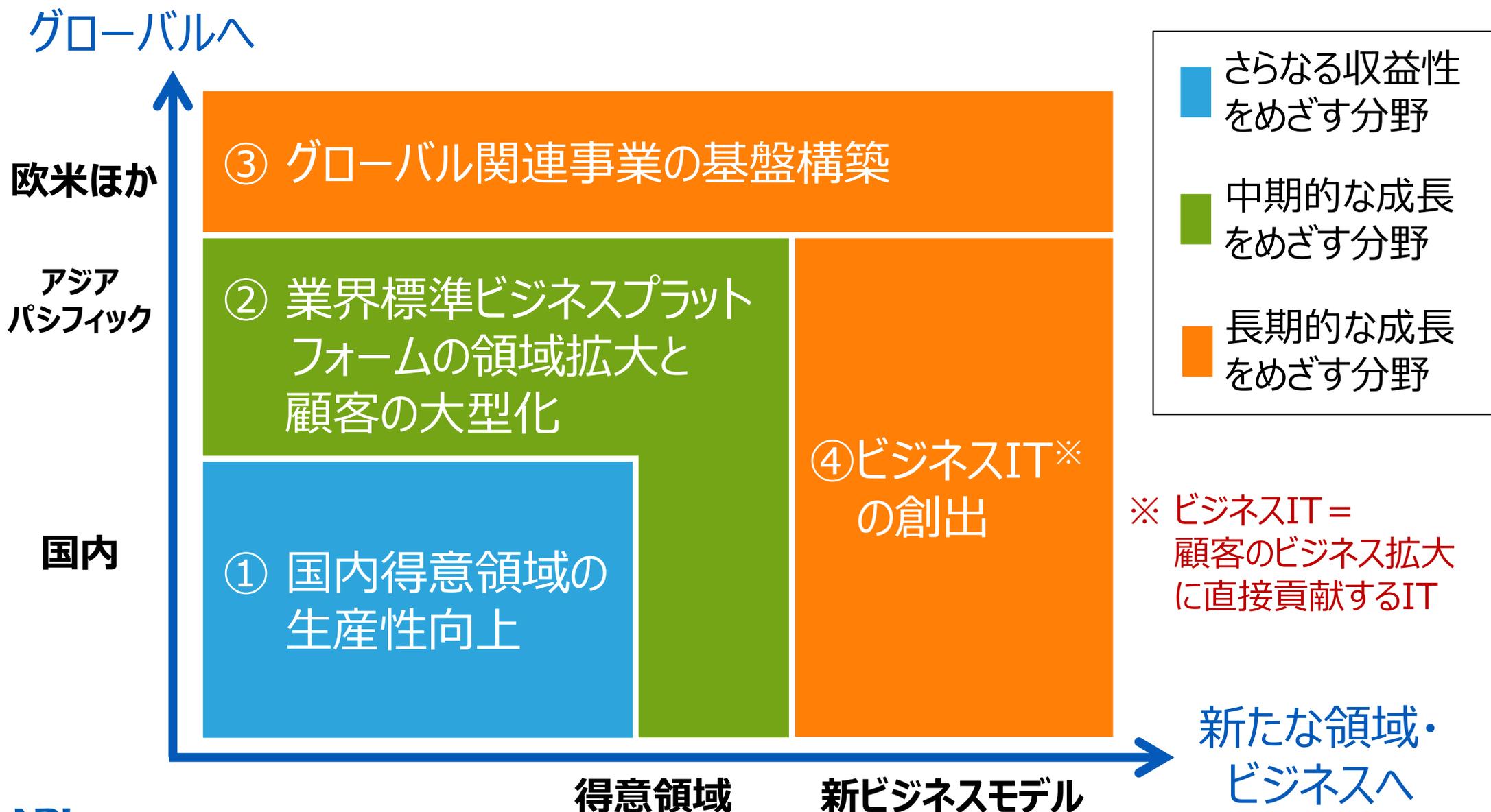
顧客のビジネス拡大に直接貢献するITサービスの創出  
※顧客のビジネス拡大に直接貢献するIT (=ビジネスIT)

##### 人材の連携・結集

グローバル化やビジネス価値創造を推進するための、  
多様な人材の連携と結集

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

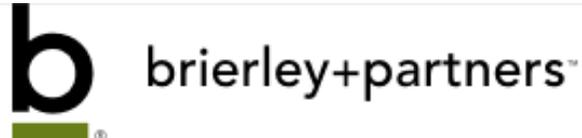
Vision2022の前半期間(2017年3月期～2019年3月期)を対象とする  
**中期経営計画**では、4つの成長戦略を提示しています。



### 3. さらなる成長に向けた取り組み

## 【③ グローバル関連事業の基盤構築】

既存資産での成長に加えて、M&Aによる事業拡大を進めています。

M&A実績（子会社名）	会社概要
<p><b>ブライアリー・アンド・パートナーズ</b> (米国、2015年子会社化)</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>ロイヤリティプログラム統合ソリューション「BRIERLEY LOYALTY WARE™」は米国市場で随一の実績</li><li>創業者は、米国航空会社で初めてのマイレージプログラムを設計・運用を担当した人物</li><li>Hertz, Hilton Worldwide, Levi's等の大手顧客</li></ul>
<p><b>カッター・アソシエイツ</b> (米国、2016年子会社化)</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>米国資産運用業界の研究、コンサルティングで実績</li><li>資産運用会社、保険会社、年金基金等の200社以上の顧客基盤は業界随一</li></ul>
<p><b>ASG</b> (豪州、2016年子会社化)</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>顧客のソフトウェア資産を買い取り、クラウド環境に移行した後に、サービスとして提供する「ITマネージド・サービス」で多くの実績</li><li>2017年にコンサルティングに強みを持つSMS社を子会社化、2018年より一体経営を開始</li></ul>

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

## 【④ビジネスITの創出】

AI, IoT, アナリティクス等のデジタル技術で、お客様を支援しています。

<p><b>ビジネス変革 (DX2.0)</b> 新たなビジネス モデルの創造</p>	<p><b>デジタル エコシステム</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● ケネディクスと合併会社「ビットリアルティ」設立</li><li>● KDDIと合併会社「KDDIデジタルデザイン」設立</li><li>● DMG森精機と合併会社「テクニウム」設立</li><li>● デンソーと合併会社「NDIAS」設立 (NRIセキュア)</li><li>● 資生堂ジャパンのIoTスキンケアシステム「Optune」支援</li></ul>
<p><b>プロセス変革 (DX1.0)</b> デジタル技術で ビジネスモデル を高度化</p>	<p><b>デジタル フロント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 野村証券の個人投資家向け資産運用型ロボアドバイザー「野村のゴールベース」</li><li>● 日本航空の国内線特典航空券サービス「どこかにマイル」</li></ul>
	<p><b>デジタル バック</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● AIソリューション「TRAINA/トレイナ」による業務効率化・自動化</li><li>● RPA(Robotics Process Automation)等による業務改革</li></ul>
<p><b>デジタルソリューション・ 技術基盤</b></p>		<ul style="list-style-type: none"><li>● 「アナリティクスナレッジセンター」によるナレッジマネジメント</li><li>● 全社横断での「ブロックチェーン推進会議」</li><li>● デジタルビジネスを支える「クラウド基盤」構築ノウハウ</li></ul>

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

## 【AI（人工知能）:コンピュータ上などで、人間同様の知能実現を目指す技術】 企業の社内業務をAIで効率化し、働き方改革を支援

- NRIのAIソリューション「**TRAINA/トレイナ**」は、コールセンターなどの窓口業務において、AI(人工知能)が問い合わせやオペレーターとの会話を分析し、自動回答や回答候補を提示



- サッポロホールディングスとの共同実証実験では、サッポログループ子会社への**問い合わせ業務の45%が人手を掛けずにAIで回答可能**であることを確認
- 非効率な業務を改善し、**働き方改革の実現**を推進

出所) 日経産業新聞 (2017年7月10日付)

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

## 【データアナリティクス：大量のデータを収集・分析して意思決定を高度化する技術】 企業のビッグデータを活用した新サービスで、地域活性化に貢献

- 日本航空とNRIが共同開発した国内線特典航空券サービス「どこかにマイル」は、通常よりも少ないマイルで、ランダムに表示された4つの行き先候補のどこかにいけるサービス
- 「2017年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞 日経MJ賞」など多くの社外評価を獲得

日本の魅力、再発見！  
行き先はおまかせ、マイルをつかってどこかに行こう！

どこかにマイル  
Go somewhere

お申し込み    ご利用案内

どこかにマイルとは？  
往復6,000マイルでどこかに行ける  
新しい旅のかたち



山形へ

エリア情報

#### 立石寺（山形市）

「山寺」の通称で知られる宝珠山立石寺。山の急斜面に堂宇が点在し、1000段を超える石段の先に奥の院がある。松尾芭蕉が『奥の細道』の中で、この地について詠んだ、〈聞けさや 岩にしみ入る 鐘の声〉の句は、あまりにも有名。



石垣島へ

エリア情報

#### 重要伝統的建造物群保存地区（竹富島）

沖縄古来の美しい景観が残る、伝統的建造物群保存地区に指定されている竹富島の町並み。赤瓦屋根にシーサーを乗せた、沖縄の伝統的民家。サンゴ砂を敷き詰めた白い道。琉球石灰岩の石垣を彩るブーゲンビリア。スローな時間がここには流れている。



札幌（新千歳）へ

エリア情報

#### 小樽運河（小樽市）

港町小樽のシンボルである小樽運河。周辺には、明治から昭和初期にかけて建てられたレトロな倉庫群が立ち並ぶ。雪と氷に包まれた冬景色がライトアップに浮かび上がる、ロマンチックな夜景も見逃せない。



高知へ

エリア情報

#### 「モネの庭」マルモッタン（北川村）

印象派の画家クロード・モネが、フランスの自宅で作品を描くために作った庭をモデルにした、約3万㎡のガーデン。睡蓮が美しい「水の庭」や、「花の庭」「光の庭」の3つの庭を散策しながら、モネの世界観が堪能できる。夏から秋にかけて青い睡蓮も楽しめる。

出所) 2018年4月19日 弊社ニュースリリース

### 3. さらなる成長に向けた取り組み

## 【IoT: あらゆるモノをインターネットに接続することで、新たな価値を生み出す技術】 デジタル技術を用いて、工場等における生産設備の高度な活用を支援

**データ時代、勝つ企業の条件一変**

人工知能(AI)やあらゆるものがネットにつながるIoTなど、デジタル化や技術革新が急速に進む世界、企業の競争環境はどう変わり、社会はどう変容するのか。データの世紀に企業が進む条件は何か。日独連合を率いるDMG森精機の森雅彦社長と、野村総合研究所の此本臣吾社長に紙上対談してもらった。  
(聞き手は日経産業新聞編集長 宮家浩徳)

**IDこそ資本利益は後**

供給者目録より顧客ニーズでサービスを提供する「aaS」の時代は

- MaaS: モビリティ・サービス (自動車+運転=移動手段の提供、鉄道やバス、船と組み合わせ、カーシェアなど)
- HaaS: ハウス・サービス (電線や水道を組み合わせ、家の設備、修繕)
- EaaS: エネルギー・サービス (電力やガス、水など多様なサービス)
- RaaS: レジデンス (住宅をベースに組みやすいサービス)
- NaaS: ネット・サービス (データをもとに生活を変革)
- CaaS: コミュニティ・サービス (関係者を使った交流や各種サービス)

**全産業「aaS」へ走れ**

**GAF Aと敵対無意味**

**此本 臣吾氏**  
野村総合研究所社長  
「データは最大の資産。ID(個人識別番号)は、企業にとって最大の資産。IDを管理する企業は、顧客の行動を把握し、サービスを提供できる。IDこそ資本利益は後。」

**森 雅彦氏**  
DMG森精機社長  
「GAF A(Google, Apple, Facebook, Amazon)と敵対は無意味。GAF Aは、顧客の行動を把握し、サービスを提供している。我々も、顧客の行動を把握し、サービスを提供する必要がある。」

- 2018年、DMG森精機が持つ生産技術と、NRIが持つIT技術およびデジタル変革ノウハウの掛け算で、製造業のお客様を支援する合弁会社「**テクニウム**」を設立
- # TECHNIUM
- お客様が保有する**工作機械の情報**を一元**管理**する会員制のWebサイト「**テクニウム**」の提供を開始
  - 今後、集約した情報をもとに、**工作機械の使い方**の研修プログラムなど、**関連サービス**を提案していく予定

出所) 日経産業新聞 (2019年1月9日付)

**1. 野村総合研究所(NRI)とは？**

**2. 成長を続けるNRIの強み**

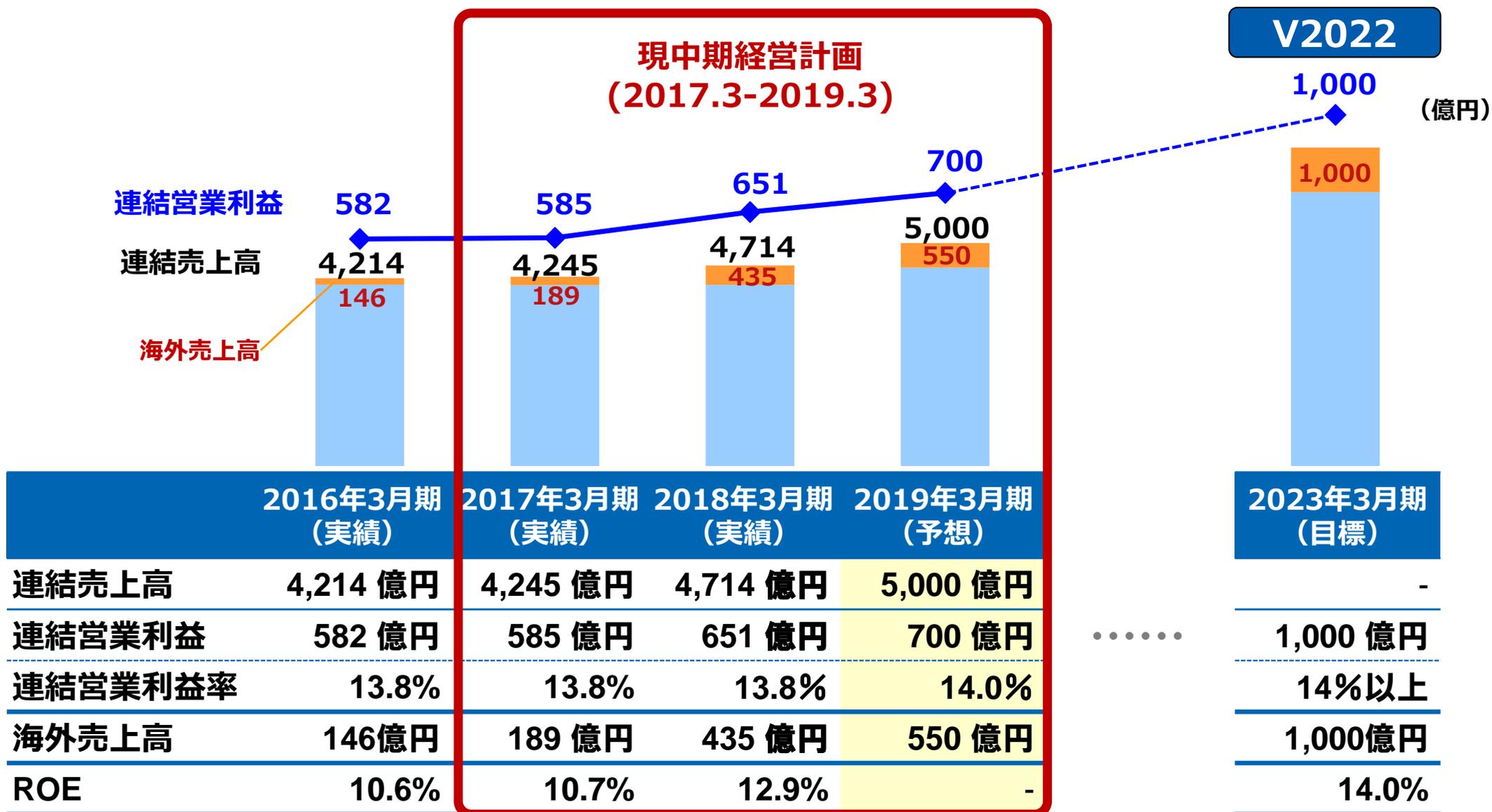
**3. さらなる成長に向けた取り組み**

**4. 数値目標・株主還元**

**5. 社会的責任(ESG・CSR活動)**

#### 4. 数値目標・株主還元

長期経営ビジョン(V2022)と、その前半期となる中期経営計画では、以下の数値目標を設定しています。



#### 4. 数値目標・株主還元

**連結配当性向35%を目安に 安定的な配当を継続する方針です。**

##### 【1株当たり年間配当金の推移】

年度	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期 (予想)
1株当たり配当金※1	56円	70円	80円	80円	90円	90円
配当性向	35.9%	36.5%	41.1%	42.4%	39.1%	39.9%

※1 当社は2015年10月1日付および2017年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行いました。1株当たり年間配当金は、株式分割による遡及修正を行っていない値です。

## 4. 数値計画・株主還元

# 株主還元及び資本効率の向上を目的に、自己株式の取得を行っています。

### ■ 自己株式取得 ※株数は取得時点のものを記載しています（株式分割・消却の影響で、発行済株式総数は異なります）。

取得期間	取得した株式の総数	取得価額の総額
2005年11月	432万株※（発行済株式総数の9.6%）	約475億円
2008年2月	493万株※（発行済株式総数の2.2%）	約150億円
2008年5-6月	464万株※（発行済株式総数の2.1%）	約119億円
2016年4-6月	247万株※（発行済株式総数の1.0%）	約100億円
2017年7-12月	1,145万株※（発行済株式総数の4.6%）	約500億円
2018年5月-11月	554万株※（発行済株式総数の2.2%）	約300億円

### ■ 自己株式保有方針

- 自己株式の保有は、発行済株式総数の概ね5%程度を目安とし、それを超過する部分は原則として消却（2016年4月27日発表）

**1. 野村総合研究所(NRI)とは？**

**2. 成長を続けるNRIの強み**

**3. さらなる成長に向けた取り組み**

**4. 数値計画・株主還元**

**5. 社会的責任(ESG・CSR活動)**

## 5. 社会的責任(ESG・CSR活動)

環境経営や健康経営において、先進的な取り組みを進めています。

### 環境経営

- NRIの事業活動から生じる  
温室効果ガス排出量の削減目標を公表  
目標：2031年3月期に55%削減  
(2014年3月期〔基準年度〕比)  
パリ協定で目標とされている世界平均気温  
上昇「2℃未満」の達成に向けた水準
  - 2017年3月期実績で既に27%削減
- 国内の事業会社としては初めて、  
円建て「グリーンボンド」を発行
  - 資金用途を環境問題の解決に資する事業に限定した社債
  - 2016年9月に100億円を発行
  - 環境性能に優れたオフィスビルの持分取得と、当該ビルへの設備投資に充当

### 健康経営

- 健康経営優良法人（ホワイト500）  
前年度に続き2年連続で認定  
(経済産業省が、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みに優れた企業を表彰)



(大規模法人部門にて認定)

## 5. 社会的責任(ESG・CSR活動)

ダイバーシティ・マネジメントでも、数多くの外部評価を獲得しています。

### 女性活躍

- 平成29年度「なでしこ銘柄」  
前年度に続き、2年連続で選定  
(経済産業省と東京証券取引所が、女性活躍推進に優れた上場企業を選定)
- 「プラチナくるみん」を取得  
(厚生労働省が、改正次世代育成支援対策推進法に基づき、社員の子育てを高水準でサポートする企業を認定)
- 事業所内保育所「ゆめみなと保育園」を開園



### 障がい者活躍

- 2015年に障害者雇用促進法に基づく特例子会社としてNRIみらいを設立

【業務の様子】



【障がい者雇用等に関する経営セミナー】



## 5. 社会的責任(ESG・CSR活動)

### コーポレート・ガバナンス(企業統治)の取組みも進めています。

- 一般社団法人日本取締役協会が主催する「2017年度コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー」において「東京都知事賞」を受賞
- 女性の登用、NRIグリーンボンド発行などの先進的な取組みが評価される



## 5. 社会的責任(ESG・CSR活動)

これまでの取り組みが評価され、多くのESG株式指数に選定されています。

- 「Dow Jones Sustainability World Index」の構成銘柄に初選定  
(Asia Pacific Indexでは3年連続の選定)



- GPIFが採用する全てのESG株式指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom  
Japan

**FTSE Blossom Japan Index**



2018 Constituent  
MSCI Japan ESG  
Select Leaders Index



2018 Constituent  
MSCI Japan Empowering  
Women Index (WIN)



**S&P/JPX Carbon Efficient Index**

※ THE INCLUSION OF Nomura Research Institute, Ltd IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Nomura Research Institute, Ltd BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI, MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

---

## 参考資料

(参考資料) 野村総合研究所の提供サービス(コンサルティング)

コンサルティングは、**国内外約1,000名を超えるコンサルタント**が、**企業や政府・官公庁のお客様**に対して、**様々な支援**を行っています。

## 経営・政策コンサルティング

- 企業の経営戦略・個別戦略策定の支援
  - 政府・官公庁の政策立案の支援
- 例) 中長期計画、年度計画、新規事業計画、M&A等

## 業務コンサルティング

- 企業の戦略実行の支援
  - 政府・官公庁の政策実現の支援
- 例) プロジェクト管理、業務プロセス構築、実行サポート等

## システムコンサルティング

- 企業や官公庁のITシステム戦略の策定
- ITを活用した業務改革の計画、実行支援
- グローバル各拠点でのITガバナンスの確立

## 未来予測・社会提言等 (シンクタンクとしての使命)

- 経済・社会・産業などの将来像を予測
- 出版活動やメディア取材・シンポジウム等での政策提言などでの情報発信

(参考資料) 野村総合研究所の提供サービス(ITソリューション)

ITソリューションでは、**システム開発**を皮切りに**運用アウトソーシング**に繋げ、  
その中で培ったノウハウで**共同利用型サービス**を開発・提供しています。

## システム開発

- **情報システムの企画、設計、開発**

※必要なハードウェア(サーバ, ネットワーク機器), ソフトウェア(OS, ミドルウェア, パッケージソフト)を企画・選定し、構築を行う

## 運用アウトソーシング

- **開発したシステムを安全に運用、保守**

※システム安定稼動のために、システムの監視や万が一の障害対応をしたり、システムの改修を行う

## 共同利用型サービス

- **NRIが自ら開発したシステムを、複数の顧客に対して共同利用型サービスとして広く提供**

## 共同利用型サービス + B P O

- **共同利用型サービスと、関連する人的業務を合わせて受託 (B P O : ビジネスプロセス・アウトソーシング)**

例) データ入力、帳票出力・送付、顧客口座管理業務など

## NRIグループの情報セキュリティ事業

### NRIセキュアテクノロジーズ株式会社



- ・野村総合研究所の「社内ベンチャー第1号」
- ・2000年独立。現在、グループ企業含め社員数約440名
- ・売上高は約200億円（国内最大級の事業規模）

#### 3つの主要事業



##### セキュリティコンサルティング

- ✓ 専門コンサルタントによるセキュリティ対策のPDCA支援
- ✓ セキュリティ人材の育成と資格取得支援（GIAC、CISSP）



##### サイバーセキュリティサービス

- ✓ セキュリティ診断・ペネトレーションテスト  
（攻撃者の視点・技術によるITシステムの脆弱性チェック）
- ✓ セキュリティ監視・SOCサービス  
（サイバー攻撃からITシステムを防御する、24時間×365日の監視・管理サービス）



##### セキュリティソリューション

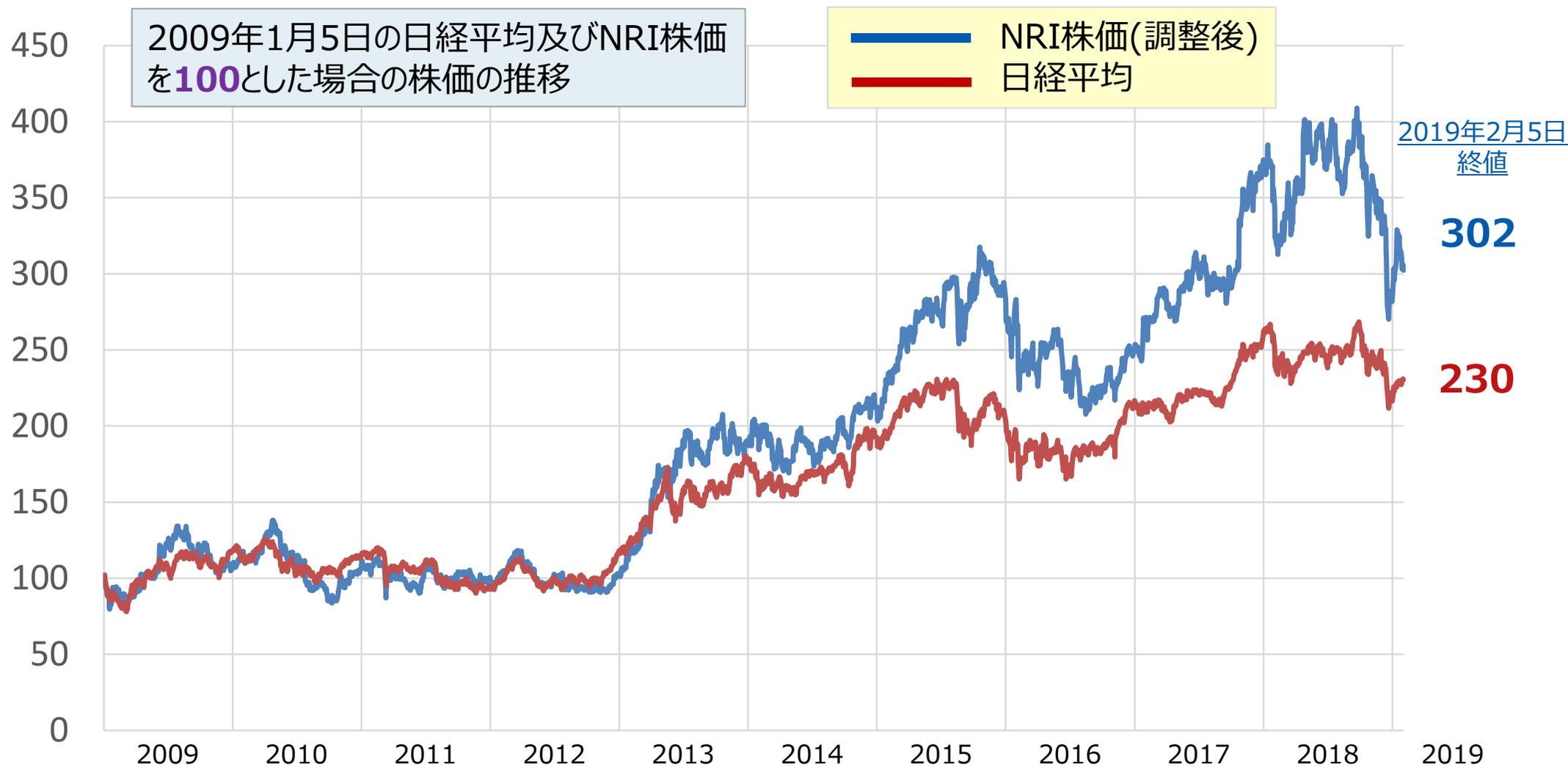
- ✓ 自社開発を中心とした、高品質で利便性の高いセキュリティ対策ソリューション

## 【株価チャート】上場以来の株価と売買高の推移



注) 直近は、2019年2月5日までを表示

## 【株価チャート】日経平均との比較チャート



注) 直近は、2019年1月25日までを表示

## 【よくあるご質問①】

---

### Q. 事業内容を教えてください。

#### A. 当社の事業は、大きく以下の2つに分けられます。

顧客(民間企業や官庁・地方自治体など)に対する

①企業経営や政策立案などに関するコンサルティング(方針づくり)

②事業を支援するコンピュータシステム(情報システム)の設計・開発・運用(システムを考え、つくり、動かす)

### Q. 野村ホールディングスとは、どのような関係ですか？

#### A. 野村ホールディングスとそのグループ会社は、当社にとって最大の顧客であり、同時に最大の株主です。 また当社は、野村証券から約50年前に独立し分社化した2つの会社が源流となっています。

売上高の約16.5%が、野村ホールディングスとその子会社からの売上になっています。

資本関係は、野村ホールディングスとその子会社が、当社の株式の約36%を保有しています。

(2018年3月期末時点)

## 【よくあるご質問②】

---

### Q. 株式調査などをおこなっているのですか？

A. かつては株式調査などをおこなう組織がありましたが、この組織は約20年前に廃止し、所属していた証券アナリストチームは野村證券に移籍しました。現在は、個別株式の調査やレポート作成は行っていません。

### Q. 海外事業の売上はどのくらいですか？

A. 海外売上高は、2018年3月期で435億円です。

中期経営計画(2019年3月期)では、海外売上高を550億円にする目標を公表しています。  
また、長期経営ビジョンVision2022(2023年3月期)では、同売上高1,000億円の目標を公表しています。

## お問い合わせ先

# 株式会社 野村総合研究所 IR室

E-mail : [ir@nri.co.jp](mailto:ir@nri.co.jp)

URL : <https://www.nri.com/jp>

- 本資料は、株式会社野村総合研究所が業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的として作成したものです。
- 本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。
- 本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料の一切の権利は別段の記載がない限り株式会社野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**NRI**

未来創発

**Dream up the future.**